

二件の工事請負契約を可決

市営住宅新築と所野小校舎増築

第三回臨時市議会

第三回市議会臨時会が八月四日開かれました。
この臨時会では、久次良地区に新築する市営住宅と所野小学校校舎増築工事の請負契約について審議され、いずれも原案どおり可決されました。

市営住宅の完成予想図



久次良地区に新築する市営住宅は、鉄筋コンクリート造三階建十八戸で工事費(本体工事)は一億四千六百五十万円。延面積は約千八百八十五平方メートルで一戸当たりの床面積は六十五・八六平方メートル(六畳二間、四・五畳、台所など)です。

また、所野小学校の増築工事は、学級増による教室不足を解消するために行うものです。所野小学校は、現在八学級あり、普通教室は六教室しかなく、二教室不足しています。さらにこの学級数が、昭和五十八年度に九学級、同五十九

年度に十学級になることが予想されるため早期着工が望まれています。
増築する校舎は、鉄筋コンクリート造三階建で、工事費(本体工事)は一億二千八百八十万円。延面積は二千六百七十七平方メートルで、普通教室四つのほかに職員室、家庭科室、食堂などがあります。
なお、市営住宅は、株式会社石川工務店(松原町)が、所野小学校は、東鉄工業株式会社宇都宮支店がそれぞれ請負い、来年三月に完成する予定です。

三百件にのぼる意見・要望

地区懇談会十六団体で実施

広く市民の生の声を聞き、その意見や要望を市政に反映させるため今年二月から実施している「地区懇談会」は、すでに十六の団体で終り、市民の皆さんから出された質問や要望は、三百件近くを数えています。この要望事項について内容をまとめてみますと――。
七月末までに開催したのは十六団体で、二百九十七件のにぼる質問や要望がありました。

福祉の充実に関する問題十件という順になっています。
これら出された要望などのうち特に市民の皆さんの感心の深い過疎化問題については、八月分の広報でお知らせしたように、今年度一千万円の予算を計上して、専門のコンサルタントによる「日光市の未来像策定事業」として調査を行っている他、新設あるいは改善すべき点については、担当課において早急に実施できるように、これらの問題に取り組んでいます。

また、来年度以降実施する事業についても、十分調査、検討し住民参加による住みよい街づくりを推進する考えです。

このうち道路や側溝、あるいはゴミ処理、公害など生活環境の整備関係が二百十件と最も多く、つづいて、観光整備問題、および、地場産業の育成など産業振興関係六十件、学校、スポーツなどの教育、文化、体育関係十七件、社会

地区懇談会風景



表紙シリーズ

市民の中に

生きる文化財

天然記念物

カヤ

根本政一氏宅(宮小来川)の西の稲荷神社に立っている。西および南側は枝張がよく、ほぼ十二メートルくらい伸びているが、東と北側はそれぞれ七・五メートル、八・五メートルくらいである。幹の下方には三、四本の枯れた枝がついている。
このカヤは年数もかなり経っており、近くにスギが多く、空気の流通もあまりよくなく、湿気が多いためか樹皮にはノキシノブなどが多く生えている。

この木の南隣りには、ほとんど枯れたカヤがあるが、このカヤを伐り、さらに枯枝をおとして通風をよくすれば、この大木のカヤは今後も元気に生育するものと思われる。
このカヤは、市内では大木であり、他にこれに匹敵するほどの大きいものはまだ見られない。

- 樹高 二四メートル
- 周囲 三・八九メートル
- 樹齢 約四〇〇年
- (昭和五十二年十二月八日指定・指定第三十号)